

出題の意図

東京大学大学院数理科学研究科修士課程は、数学・数理科学の知識を体系的に修得し、数学・数理科学の諸分野において、第一線で活躍する研究者、ならびに数学・数理科学の幅広い素養と広い視野から専門的な判断力を身につけ、社会の広範な領域で新しい時代を担い、国際的に活躍することを目指す学生を求めています。そのため、入学試験では、次の2つの点を評価します。

- ・数学・数理科学の専門分野を学び、研究に取り組むための十分な基礎学力と論理的思考力を身につけていること。

- ・将来国際的な場でも活躍しうる外国語能力の基礎を具えていること。

これらの点を評価するために、以下の意図をもって筆記試験の各科目を出題します。

専門科目 A: 数学・数理科学のどの分野を研究する場合にも必要となる知識を既にどこまで習得しているか、またそれらを論理的かつ十分に活用できる力がどこまであるかを判定します。

専門科目 B: 修士課程で研究するそれぞれの専門分野において必要となる知識を既にどこまで習得しているか、またそれらを論理的かつ十分に活用できる力がどこまであるかを判定します。

外国語: 数学・数理科学によって国際的に活躍するために必要不可欠な、数学に関する英文の読解能力と作文能力がどこまであるかを判定します。